

平成30年度 第1回 運営推進会議議事録

グループホームみずほ

開催日時：平成30年05月16日（水）13:30～14:30

場所：グループホームみずほ かしのきユニット

参加者：家族様：2名

地域住民様：自治会長様等4名

職員：管理者等2名

平成30年05月16日付け情報

稼働状況：満室稼働中

（入院中の方が5/7退院帰宅。新規5/6入居）

待機者状況：14名の申込有。

1. 身体拘束等適正化検討委員会

※現在、身体拘束等の検討対象者なし。

但し、お1人で探検に出掛けたい方がご入居された関係で、GH～瑞穂の里・城南中央病院への渡り廊下を施錠する対策を実施中。ご本人の状況を見極めながら開錠時期を検討していく。

2. 取り組み報告及び今後の予定（付録参照）

3. 外部評価振り返り報告（別紙1、2）

様々な項目について確認し合ったなかで、今年度の取り組みとして1つアドバイスを受けたものが、防災訓練について。防災訓練実施の際は近隣住民にその旨を周知すること、入居者の特徴を見やすく分かりやすく記載したプレートを作成することが期待された。GHの今後の取り組みとして、実施の際はお知らせを配布すること、入居者の個人プレート（名札の様なもの）の作成に取り組む。今年度第1回目の開催は7月～9月の間で予定している（城南中央病院・瑞穂の里合同）。

4. 取り組み加算について

① 口腔ケアに係る加算について、5月より訪問歯科の(医)健友会様よりアドバイスを頂き、取り組み開始をしている。5月より30単位/月がかかっていること了承されたい。

② 生活機能に係る加算について、現在少人数ずつ身体評価を始めている。開始対象の方には身体評価実施のお知らせをしている。

5. 意見交換

（Q＝質問等、A＝GH側の答え、O＝他会議参加者のご意見）

Q. 外部評価で、自己評価は54項目あるとのことだが、全部を指摘受けたのか？

A. 54項目ひとつひとつを確認し合った。その中で、1年間で出来ることを1つ指摘事項として挙げたものが[防災訓練に係る項目]。

Q. 運動会に合わせて家族会を開催するとのことだが、家族だけで集まる機会はあるのか？

- A. 年に2回は計画しているが、6月の「運動会」と11月の「収穫祭」。昨年の収穫祭ではボランティアも招致し、ボランティアの対応に追われ家族様の対応が疎かになってしまったことが反省。今年度は早め早めの周知で家族参加を促したい。
- O. 自分の母も施設に入っていて、家族会が年2回あった。納涼祭の時も呼ばれた。ざっくばらんに家族同士で会話が出来て良かった。家族会は良い機会。それから母に会いに行っても息子のこと分かっているような分かっていないような？で寂しいと思っていたけれど、施設の人に「家族と会った後の本人の様子は違う」と言われて面会の大切さを感じた。
- Q. 待機者が多いと聞いたが入居は申し込み順か？
- A. 基本、順番を意識しているが、在宅で待機している人を特に気にかけている。また、新規相談でもSOS度が高そうであれば優先している。
- Q. 部屋に持ち込んで良いものはどんなもの？
- A. 捉え方として高齢者アパートなので、自宅と同じようにして頂いて構わない。冷蔵庫やオーディオを持ち込んでいる住人様もいる。仏壇もある。
- O. 家と同じ環境とまでは難しいけど、慣れ親しんだものはあった方が良くかなと思う。
- Q. 今回の口腔ケアの内容が舌の体操だが、その効果は？
- A. 舌は食物を咀嚼する時にとても重要な役割があるので、舌を鍛えておかないと食物を噛むだけで磨り潰せないの、排便が不消化になってしまう事もある。舌を鍛えることは誤嚥予防にも役立つ。GHでは、食事前に口腔体操を行っているが、舌を口の外に出す体操はしていなかったので、早速利用していきたい。
- O. 口腔体操は、介護予防教室などでも積極的に取り入れられている。健康寿命を延ばすにも重要な役割を担っている。
- O. オレンジカフェやレクでGHみずほに来ているボランティアさん達が、1年(以上)経って慣れてきてコミュニケーションが巧く取れるようになってきて嬉しい・楽しいと話していたので報告する。

<付録資料>

4月活動報告	5月活動報告	6月活動予定
13(金)オレンジカフェ 25名 20(金)青空おやつバイキング 22(日)料理会：肉じゃが 26(木)昼食デリ：弁当	散歩：カフェローレル (1ヶ月かけて可能日に実施) 11(金)オレンジカフェ 20名 13(日)料理会：ハンバーグ 16(水)運営推進会議 29(火)昼食デリ：寿司	6/20(水) 10:00～11:30 運動会 11:30～12:30 食事会 12:30～13:00 家族会

6. 次回開催日 **平成30年07月18日(水) 13:30～14:30**

(別紙4(2))

目標達成計画

事業所名 グリーン・ホーム みどりほ
 作成日: 平成30年5月15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35 (13)	災害対策・地域との連携としての取り組みが不十分な点、今後検討の中。	・みなん訓練の際、地域の方と連携、出来る様になる。 ・誰がみなんできていて誰がみなん出来ないか、半リヤあくるためにプリントを作る	・みなん訓練の際、近隣へお知らせをし、実施していることを知ってもらい、気にかけてもらう。 ・プリント(名札)の作成。本人のADLも記入する。	10ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

(別紙4(3))

サービス評価の実施と活用状況(振り返り)

サービス評価の振り返りでは、今回の事業所の取り組み状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】	
実施段階	取り組んだ内容 (↓該当するものすべてに○印)
1 サービス評価の事前準備	<ul style="list-style-type: none"><input type="radio"/> ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った<input type="radio"/> ②利用者へサービス評価について説明した<input type="radio"/> ③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした<input type="radio"/> ④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した<input type="radio"/> ⑤その他()
2 自己評価の実施	<ul style="list-style-type: none"><input type="radio"/> ①自己評価を職員全員が実施した<input type="radio"/> ②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った<input type="radio"/> ③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った<input type="radio"/> ④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った<input type="radio"/> ⑤その他(<u>管理者、主任と取り組みの確認をし評価した。</u>)
3 外部評価(訪問調査当日)	<ul style="list-style-type: none"><input type="radio"/> ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった<input type="radio"/> ②評価項目のねらいをふまえて、評価調査員と率直に意見交換ができた<input type="radio"/> ③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た<input type="radio"/> ④その他()
4 評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<ul style="list-style-type: none"><input type="radio"/> ①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った<input type="radio"/> ②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った<input type="radio"/> ③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った<input type="radio"/> ④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った<input type="radio"/> ⑤その他()
5 サービス評価の活用	<ul style="list-style-type: none"><input type="radio"/> ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した<input type="radio"/> ②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)<input type="radio"/> ③「目標達成計画」を市町村へ説明、提出した(する)<input type="radio"/> ④「目標達成計画」に則り、目標をめざして取り組んだ(取り組む)<input type="radio"/> ⑤その他()

848A2

〔口腔機能維持管理にかかわる助言内容〕

施設名 グループホーム みずほ

[歯科医師]・氏名 ●山●

口腔内状態の評価方法

適切な口腔ケアの手技

口腔ケアに必要な用具整備の留意点

口腔ケアに伴うリスク管理

■ 施設において日常的な口腔ケアの実施にあたり必要と思われる事項

舌体操

<目的> 舌の動きを診断すると同時に柔軟性を高める。

<方法> 日本歯科衛生士会で作成した舌体操のパンフレットを参照し、どこが動きにくいかなどを診断する。①と③だけでも診断とストレッチに充分有効である。食事を
する、話す、歌うときには舌が口腔外に出ないので、これらの行為をイメージしながら、動きにくい部分は、特にしっかりとリハビリを行う。

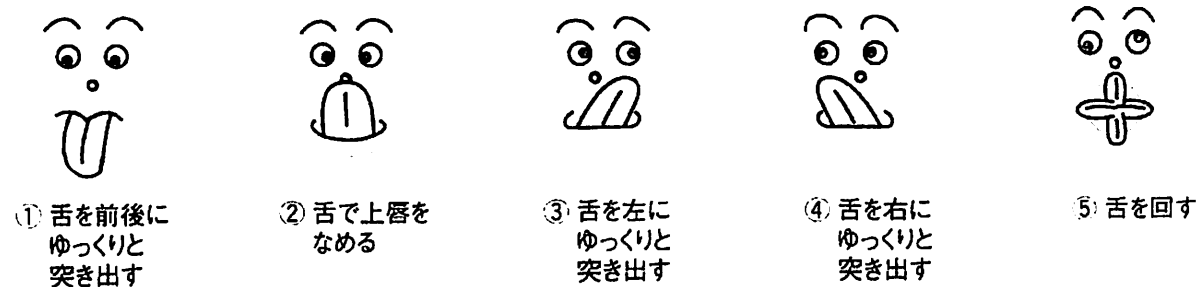


図2 舌体操(日本歯科衛生士会作成のパンフレットより、一部改変引用)